

日三十月二

常磐宮日新聞

定価 一月五拾五圓 郵費五圓
 発行所 常磐宮日新聞社
 印刷所 常磐宮日新聞社
 電話 六三〇番

聖位より佛位へ

真繼 雲山

(二) 佛位とは何ぞやといへばこのさとりを越え、山を下り、再び里に出て世を救ひ、人を化することである。

これを十界について言へば、地獄、鬼畜より人夫にいたる六道が凡位であり、菩薩と佛とが佛位である。菩薩のさとりは單なる自分だけのさとりでなく、『自未得度先度他』をその行願として、他を救ふを先決とする斯くて一念たゞ世を救ふの外なきが真正正銘の佛位である。

釋尊はハツキリとこの三階段に足跡を印せられた。その出家までが凡位であり道を求められた入山苦行は菩薩位であり、樹下成道が聖位であつた。但し成道を以て、佛位にあらずといふのではない、今はたゞ下山に重点を置いて、しばらくこの判釋を採るのである。實は釋尊も大悟成道の至樂を限りとし、世間はうるさいからモウこのまゝ涅槃の雲に隠れやうかと思はれたらしいが、諸天の切なる勸請によつて、やおら身を

挺し、山を下つて里に出て給ふた。これが謂はゆる釋迦の下山であつて爾後一化五十年の御辛酸こそは、正しく尊の佛位に當る。釋尊傳中、最も輝かしき一條として、私はこの下山を挙げ

これを淨土門について言へば、往相廻向が入山であり、極樂が頂上の聖位であり、還相廻向が山上に當る。

煙豚には二種類あつて腿と

ノート

極樂峠でヤレ〜と晝寝する御同行あらば、定めし阿彌陀様も嘆息し『コリヤ

二明日の献立二

【朝】みそ汁―里芋 大根
 【晝】焼肴―乾物魚 大根
 三杯酢

【晩】ぶた煮―はす こん
 にく 人參

「起きろ」と尻を突つかれるであらう。淨土門徒にして彌陀の代官たる覺ごなれば、信仰の甲斐はあるまじ。

その聖位皆空といふ峠の頂上は、仰げば白雲萬里であるも、一念を轉ずれば一瞬にして越え得るのである

その故、如何となれば、釋尊は六年の苦行により、また阿彌陀様は兆載永劫の御修行により、吾々のために先達となつて、吾々後進のために荆棘を切り開いておいて下されてゐるのだからである。

斯くて既に垣々たる大道が開かれたる以上、さとりは無料にして開放されてゐるにひとしい。又は母上が苦心して作りくだされる牡丹餅を食うに同じく御苦勞は御先達にあつてこなたは頂くばかりだからである。その結構なさとりといふ牡丹餅を目前に見つゝも食ひこなし得ぬといふのはよくよくの劣機と恥づるの外なく、釋迦、彌陀二尊に對して汗顔恐縮の外はない

【完】

一冊の代金で

御希望通りな

五冊の雑誌が

自由に讀める

川崎巡回文庫

電六三〇番

申込次第(規則書進呈)

外科
 X光線科
 性病科
 外科科
 入院隨意

安齊外科醫院
 電話四七五番

旭硝子株式會社製品
板ガラス
 赤菱印
 硝子壺
 硝子食器
 其他各種

製造販賣
松崎硝子製作所
 平町新川町(電話一四二番)
 支工場 仙臺市榮町(電話五九七番)



玉屋洋品店
 平町田町通電話六五六番

小兒科。内科

特ニ乳幼兒ノ康健相談ニ應ズ。

平町 ねずみ坂

渡邊醫院

電話一六一番

内科小兒科花柳病科

藤沼醫院

入院需應

平町紺屋町 電話五〇七番

トモテ白面イ
 不議ナ玩具具

大人も子供も白熱的大歡迎

ヨロヨロが來ました

世界的流行玩具 一ケ金五錢 金十錢

平驛前 いづみや玩具店

中村齒科醫院

平町鍛冶町七

吸入用酸素純度99%
 度量衡

度量衡

モノサシ
マス
ハカリ

計量器

体温器
寒暖計

秤ノ取緒・垂糸・修繕致シマス

関内藥局

電話四〇番

平商卒業生全部の 賣れ口が確定

矢野校長の幹旋奏効

校長就任以來校風全く一新

平商業學校に於ける本年度卒業生は三十八名にて来る三月十二日卒業式舉行されるが同校は從來縣下商業學校中最も就職率の悪るいのを以て知られてゐるので本年は此の汚名を雪がんと新任校長矢野泰次郎氏が地元炭礦其他の會社商店を始め遠く縣外東京方面に迄熱心に就職運動した結果其效を奏し上級進學希望者二名の以外は全部就職

職先が決定夫々實務に着手となつたので職員生徒一同大満足である因に矢野校長は着任以來全學年の修身科を擔當生徒の實力涵養と人物養成に主力を傾注し全職員と協力校務の刷新、自治訓練の徹底を圖つた結果校内の積弊一掃して全く面目一新の觀あり一般父兄の信頼極めて厚く校長として多大の期待をかけられてゐる

が平土木監督所に到着した勿來豫算町會 石城郡勿來町の八年度豫算町會は来る廿八日午前十時より開かれる

暴風雨の被害者に 大麥の種子代支給

大麥の種子代支給

昨年度に於ける郡下各町村の暴風雨被害救済の爲め縣より被害者に支給される大麥栽培の種子代は左の如く決定した旨郡農會に指令があつた

國庫補助 決定の指令

平町三十六圓五十錢、山田村九圓十錢、玉川村十三圓七十錢、渡邊村四圓六十錢、泉村十八圓三十錢

福島高商へ 石城郡無試験入學 内郷村小島根内武久君は昨年平商業學校を卒業し目下 高野

既報石城郡上遠野村に於ける三十餘の農業實行組合では去る二十一日村役場に役員會を開き組合費未納整理に就き協議した結果卅餘の組合數は餘りに多過ぎるの

小麥栽培 獎勵 宣傳映畫

各村を巡回 石城郡農會では小麥栽培獎勵の爲め農事試験本場と聯合して同場の映畫十餘巻を使用し左記の如く宣傳映畫會を催すと

三月六日豊間、七日飯野八日泉、九日錦、十日大野

一村に卅餘の組合 餘り多きに失すとして 上遠野が適當に廢合

既報石城郡上遠野村に於ける三十餘の農業實行組合では去る二十一日村役場に役員會を開き組合費未納整理に就き協議した結果卅餘の組合數は餘りに多過ぎるの

石城在郷將校が 平町を中心とし 戰術演習を行ふ

戰術演習を行ふ

石城郡在郷將校の現地戰術演習は二十五、六の兩日平町を中心として行はれるが指揮官は福島聯隊區司令官黒岩大佐で参加將校は三十餘名である

學校行事 校長が打合

平町第一、第二、第三各小學校校長及び首席打合せ會は

學校増築の半額を 地元の炭礦が寄附

好間村早速工事認可申請

既報石城郡好間村の小學校増築は去る十八日の村會で三萬一千圓を以つて着手する事に決定したので村當局では地元炭礦に寄附金交渉中の處工費半額寄附の承諾を得たので近く起工すべく縣へ工事認可を申請した

美味! 芳醇! 宗正らひた

山崎合名會社 電話一〇番

耳鼻咽喉科専門 大和田醫院

平町南町 電話一〇七

科人婦・科外 院醫坂井

町田町平 番九五五話電

共濟病院案内

院長 醫學博士 石山謙 自宅(電話一二四番)

- 内科 醫學博士 石山謙
 - 小兒科 醫學博士 佐久間謙
 - 外科 醫學博士 桂重
 - 外科皮膚科 醫學士 有馬雄二
 - 産婦人科 醫學士 五十嵐
 - X光線科 醫學博士 佐久間謙
 - 衛生試驗所 技師 石山謙
 - 藥局 藥劑士 高本孝
- 診療時刻午前八時より午後五時迄
但急患は此の限りに非ず
- 平町 磐城共濟會 電話六四一番

吉田眼科病院

平町屋町、電話六八番

市原醫院

平町田町(電話一一四番)

- 内科 小兒科 市原卯太郎
 - 外科一般、婦人科 市原陸郎
 - 外科梅毒、淋病 市原三三男
- 入院隨一

名實共に「花の新川」

青年分團員が出勤して

新櫻樹百五十本を移植

既報平町の匡救工事たる新川改修工事は殆んど竣功に近いで新川櫻樹保存會では本日銀治町、材木町、長橋町各町青年分團と協力して新堤防に二年生櫻樹百五十本を移植し従前の老木に配するに若木を以つてし一層「花の新川」の名に添はしむる事となつた

腐らすのが惜い

イワシの山

水揚相場ガタ落

昨日は百尾一錢

石城郡小名濱町の鰯漁は依然豊漁を續け海岸には鰯の山を築いて到底消化し切れず其儘では腐らして仕舞ふより外ないので昨日の水揚相場は百尾一錢平均に落ち農家の肥料に賣れて居ると

小名濱町議

話題の人

押すな押すな

石城郡小名濱町では町會議員改選の下馬評が盛んになつて來たが話題の人は左記三十餘名に上り定員を十名も超過し激戦を豫想されてゐる

水野順弘 野崎昇太郎
志賀要平 小島源七 中
野鐵之助 小島竹次郎
立花雄七 小松重兵衛
佐川榮次郎 樋口連馬

公判延期

フオード詐欺

平町南町十八番地自動車販賣業佐藤巖(三)が不渡手形で日本フオード自動車株式會社より三千數百圓を横領した事件は本日平支部に於て公判開廷する筈の處辯護士の都合に依り延期され来る三月七日午前九時より開廷する事になつた

墓口を拾ふ

石城郡飯野村字北白土志賀吉太郎(三)は昨廿二日午後六時頃平町一丁目地内を通行中現金四十三圓入りの墓口を拾得し直に平署に届出たが未だ所有者が判明しない

御馳走目當の詐欺

言傳ひを頼まれたと

平町胡摩澤鈴木理髮店へ廿二日午後四時頃商人風の男が訪れ當家のお神さんの母親が重病だと富岡町の實家から言傳ひを頼まれて來たといふので鈴木方では近所から料理を取寄せ種々もてなした處財布を紛失したからと一圓を借受け其儘何れへか行衛を晦したので初めて詐欺されたと感付き本日平署に届出た

平區事務視察 福島
地方裁判所々長石井壽太郎

明日のラジオ

廿四日

報豫氣天
晴れ
今晚は北西の風
れ明日も北西の風

今晚の部

後六、〇〇 子供の時間
童謡とピアノ 獨唱佐藤とせ子、ピアノ 瀬戸千代子、ピアノ 佐藤弘子
後七、三〇 講演「爲替管理に就て」大藏次官黒田英雄

氏は本日午後六時二十二分着にて來平明日平區裁判所

忠魂碑の前で

剣道階級試験

は來月十五日午前九時より松ヶ岡公園忠魂碑前に於いて剣道階級試験を行ふと

白米一俵もろ共

リヤカー盗まらる

石城郡湯本町字天王崎米穀商益田甚吉(三)方で廿一日午後五時同店の使用人細井倉三(三)が白米一俵をリヤカーに積み配達に出掛る際何者かに白米諸共リヤカーを窃取され平署に届出た

平裁判たより

▼双葉郡富岡町毛萱下郡山耕地整理組合長佐藤徳右工門(三)は本日平検事局に於て上田檢察取調への上詐欺罪として起訴豫審に廻されると共に收監されたが事件の内容は昭和四年五月大洪水の爲め同部落が荒廢したのでこの復舊工事をなすに當り縣より補助金が交付されるのを奇貨として實際の費用三千四百圓にも拘らず一

明日の部

後九、四〇 全國ユネス氣象通報 番組預告
前九、一〇 料理献立「茹玉子ソース和へ」松本良雄
前一〇、三〇 家庭講座「豆細工雛人形の作り方」大妻コタカ
後一〇、五〇 管絃樂日本放送交響樂團指揮齊藤秀雄
後二、〇〇 家庭講座「日常生活と榮養」歌醫學博士佐伯矩
得五、三五 受験講座「英

平職業紹介所報告

回人を求める方
△染物外交 三十六才 尋
△探炭夫 四十五才迄 尋
△卒 日一圓位(勿來町某)
△農夫 五十才 年六十圓位(玉川村某)
△看護人 五十才前後 月十五圓(錦村某)
回職を求める方
△土工 三十九才 尋二
修 給料面談(平町某)
△女事務員 二十一才 平陽卒 給料面談(平町某)
△土木現場監督 三十才 高卒 給料面談(湯本町某)
△鐵道工夫 二十四才 高一修 給料面談(平町某)
△雜夫 五十二才 高卒 給料面談(平町某)

三井タクシ

目丁二町平

番五八六話電

看護婦急派の求めに應じます

平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

幕末剣術

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演
近藤紫雲畫

第二百七十四席 千葉周作
腹へらしの劍術

門人「先生、來客にござい
ます」

周「これを聞いて千葉先生は
門人「客か何れから参つた」

年頃は六十才にもなりませ
うか色の黒い、つまりぬ爺

で周作に會ひに來た千葉は
居るであらうの、久留米の

寅が來たと由してくれとこ
んな事を云つて居ります、

朝鮮に虎の居ることは聞き
ましたが久留米に虎が居る

とは初めて聞きました、横
柄な爺でございます千葉は

居るか、周作はゐるか、千
葉は居るであらう、暫らく

會はないぞと申して居りま
す」

周「何を申す、只今参つた
人物は久留米の佐々木先生

であらう久々にて會はう」
と千葉先生は玄關へ出て

参り

周「これはようこそお尋ね
下された、どうぞこれへお

通り下さう」

佐「オウ千葉か、其後は打
絶え會はなんだが毎時堅固

でめでたい、洗足を持つて
來て下さう、足がよこれ

居る」

洗へ」

と云はれて門人が水を持
つて來て

中「洗足はこれへ差置きま
す」

無難作に盥をそれへ置く
これを見て千葉先生が

周「老先生の足を洗つて差
へエ御足を洗ひました」

中「先生の御足には割が出
て居ります」

佐「さうだらう、草鞋を穿
かす素足にてどのやうな峻

阻な道も踏破るそれが爲に
足の筋に割が出る、寒い時

はビシリ／＼と音を立て、
割れる」

中「柱の様でございます
オヤ／＼割れた處に黒い物

が見えます」

佐「それは土だ、土がしみ
こんで居る、春になるとそ

れから草が芽を出して花を
開く」

中「これはおたはむれを、
へエ御足を洗ひました」



上げろ」

中「これは恐れ入つた、こ
の汚い爺の足を洗ふとは馬

鹿な事だ、こちらへ御足を
お出しなさい」

佐「御苦勞であるがちよつ
と洗濯をしてくれ」

黒い足ヌツとを出した

周「何時御出府になりまし
た」

佐「先月出て参つた」

周「當時何方にお在になり
ます」

佐「番丁の齊藤彌九郎の許
に居るが、久しく貴公には

會はぬからお尋ねいたした
何時もながら盛大にて芽出

度い」

周「老先生には相變らず御
元氣にて大慶に存じます」

佐「稽古が始まつて居るや
うだが見たいものだナ」

周「左様ならば道場にお通
り下さいまし」

茲でこの佐々木と云ふ老
人を道場に連れて來て武者

溜より門人の稽古いたし居
るを見せる

佐「イヤ大分竹刀を動かし
て居るな、嘸腹の空くこと

であらうアハ……」

とと笑つてゐる、これを
門人が聞いて

○「なんだあの爺は失禮な
事を申す奴だ、嘸腹の空く

ことだらうとは何だ、我々
は飯を餘計食ふ爲に劍術を

學んで居るのではない、無
禮な奴だな、どういふわけ

で先生はあのやうな無禮者
を尊敬いたすか」

などと悪く云つてゐる時
に千葉先生が自分の代稽古

をする伴英次郎又眞田範之
助、海保半平、東海林辨吉

を呼び寄せ

周「これにお在になるは久
留米の住人にて佐々木寅之

助見山先生である、御挨拶
を致せ」

云はれて

範「これは／＼久留米の老

先生でございませうか、手前
は眞田範之助」

英「自分は千葉英次郎で御
座います」

辨「わたくし事は東海林辨
吉にござる」

半「それがしは海保半平に
ござる」

佐「ア、左様か當道場での
貴公方は牛耳を執られる人

物だな、定めし劍法にも達
して居るであらう」

範「師の代稽古致し居りま
す」

佐「千葉の代稽古をするや
うでは少しは出来るであら

う」

云はれて短氣な眞田範之
助は大いに怒り

範「師範代をいたす上は劍
術は心得て居ります、それ

も少々は心得ませぬ、大分
多く心得て居ります」

それを聞いて千葉先生が
周「コレ老先生に向ひ失禮

な事を申すな控へて居れ」
と叱言を云ふ。

北海屋の

名産 製米橋

七ち銘

右發賣致しましたから何卒多少に不拘御用命下
さる様御願ひ致します

●滋養豊富 味覺佳良ですから
御病人の御見舞に最適品。
●價格低廉 萬人の御口に適し
ますから一般家庭の御贈答用
に最適品。

平二丁目
北海屋製菓部
電話三八八番

金銀高價買入

平町二丁目(三幸堂跡)
根本時計店
電話六〇七番

阿康藥舖

販賣部
地方代理店
靈効散



靈効散(無効返)
金ス

胃腸病藥の王座を占むる純漢法藥
松前 家傳
ホントに北海道で出來た靈藥が着荷致しました。
今迄のは福島市内で製藥したので兎角の批評があり
ました。今度のものは眞正のもので奏効確なもので
す。服用しなくては其の眞價が判りませぬから、皆
様見本品を差上げます。御遠慮なくいらつしやつて
下さい。見本品でも二日間飲まれますから胃腸病
に苦しむ方、惱病、心臓、痔疾の方は是非御試し下
さい。クセにならず根治致します。小兒用の靈効散
も出來ました。

定價
試用分(八日分) 輕症用(廿日分)
五十錢
重症用(四十五日) 壹圓

平町古銀治町縣社ノ下

電話四四番